今年度最後の
試験放送です

防災行政無線の試験放送を行います

地震や武力攻撃などの発生に備え、情報伝達試験を全国一斉で行います。当市では防災行政無線から試験放送が流れます。

▼**とき**　2月17日（水）、午前11時ごろ

※気象状況等によっては中止することがあります。なお、防災行政無線の内容を確認する場合は、テレフォンサービス（☎40-7110、サービス料は無料ですが通話料が発生します）をご活用ください。

■**問い合わせ先**　防災課（☎40-7100）

広告を
掲載しませんか

市ホームページのバナー広告と広報ひろさきに掲載する有料広告を募集しています

【市ホームページ　バナー広告】

市のホームページに掲載するバナー広告を募集しています。

▼**掲載位置**　各ページの最下段

▼**掲載料**　トップページ＝1カ月当たり1枠1万円（1年間継続の申し込みで1枠10万円）／トップページ以外＝1カ月当たり1枠3,000円（1年間継続の申し込みで1枠3万円）

▼**掲載期間**　広告の掲載期間は1カ月単位。また、連続して掲載できる期間は最大12カ月です。

▼**バナーの規格**　大きさ…縦50ピクセル、横170ピクセル／形式…GIF、JPEG、PNG／容量…10キロバイト以下

▼**申込期限**　掲載開始月の前月の10日

※掲載を希望する人は必ず市ホームページをご確認ください。

【広報ひろさき　有料広告】

広報ひろさきに掲載する有料広告を募集しています。掲載できる広告は、広報誌の性格上、その品位を妨げず、かつ市民に不利益を与えない中立性のあるものなど、いくつかの条件があります。詳しくは市ホームページでご確認ください。

▼**掲載位置（1日号、15日号共通）**　最終ページ全面、半面または最終ページおよびお知らせページの最下段

▼**掲載枠・掲載料**　下表のとおり

▼**申込期限**　掲載を希望する号のおおむね40日前

※掲載を希望する人は必ず市ホームページをご確認ください。

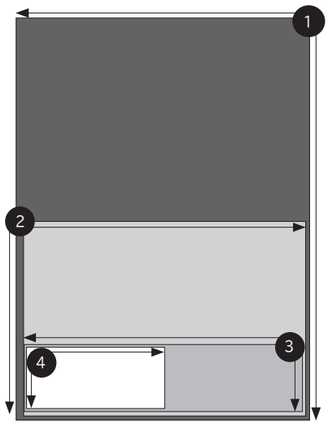
■**問い合わせ・申込先**　広聴広報課広聴広報係（市役所2階、☎35-1194）

●広報ひろさき掲載枠・掲載料

掲載枠	規格（縦×横）	1回の掲載料			
		お知らせページ		最終ページ	
❶全　　枠	252㎜×170㎜以内	―	―	1日号	30万円
				15日号	20万円
❷2分の1枠	126㎜×170㎜以内	―	―	1日号	15万円
				15日号	10万円
❸5分の1枠	45㎜×170㎜以内	1日号	6万円	1日号	9万円
		15日号	4万円	15日号	6万円
❹10分の1枠	45㎜ × 85㎜以内	1日号	3万円	―	―
		15日号	2万円	―	―

※1日号は全ページカラー、15日号は全ページ白黒（消費税および地方消費税を含む）。

●掲載枠イメージ



街なかカラス対策

夕方から夜明けにかけて街なかに集まるカラスの群れは、路上に落とすふんや朝に出したごみの散らかし、景観上の問題など、市民生活へさまざまな影響を与えます。市ではこれまで、街なかカラス対策として被害防止や捕獲など、いろいろな事業を展開しており、今後もこれまでのカラス対策を検証しながら、さらに効果的な対策に努めていきます。カラスを街なかから減らすには、行政の取り組みだけでは十分ではありません。市民の皆さんも、カラスが住みにくい環境づくりにご協力をお願いします。

■**問い合わせ先**　環境課環境保全係（☎36-0677）

主な取り組み

1 黄色防鳥ネットの貸し出し

ごみ集積所でのカラスによる生ごみの食い荒らしを防止するために、黄色防鳥ネットを町会などへ貸し出ししています。

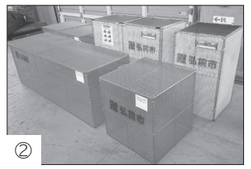
※使用するときは、ごみ袋全体を包み込むように防鳥ネット内にきっちりと納め、ネットやごみ袋が飛散しないように工夫してください。

2 ごみ集積ボックスの設置費補助

カラスによるごみ集積所での食い荒らし対策として、ごみ集積ボックス（①）や折り畳み式ごみ収納枠（②）を新たに設置する町会などに対し、設置費用の一部を補助しています。

※令和2年度分の申請受け付けは終了しました。

①


②

3 追い払い用LEDライトの貸し出しなど

カラスの追い払いに役立ててもらうため、町会や事業所に対し高輝度LEDライトの貸し出しを行っています。また、建物や農作物にカラスを寄せ付けないためのテグスや、歩道等清掃用のデッキブラシも無償で提供しています。

4 カラスの個体数調査

個体数の増減を年度ごとに比較・検証するため、日本野鳥の会弘前支部などと協働で実施しています。調査の結果、今年度は秋から冬にかけて約3,700羽のカラスが市内の街なかをねぐらとしていることを確認しました。なお、近年はこれまでの対策の効果もあり、平成27年の約5,800羽をピークに、徐々に減少してきています。

5 箱わなを使用したカラスの捕獲

カラスの個体数調整のため、市内に箱わなを6基設置し、年間200～400羽を捕獲しています。

※その他の鳥獣被害対策として、市内山間部で、銃器により年間約1,000羽を駆除しています。

6 近隣の市町村との連携

黒石市と連携して、個体数調査等を実施しています。併せて、近隣市町村である平川市・板柳町・藤崎町・大鰐町・田舎館村・西目屋村とも毎年カラス対策連絡協議会を開催し、広域における対策を実施しています。今年度は、冬場のカラスの餌を減らすことによりカラスを減少させるため、「農作物や庭木の果実の収穫徹底」の周知活動を圏域全てで実施しています。